

早池峰

学校教育目標

郷土の誇りを胸に未来へ向けて
たくましく生きる児童の育成
まなび合う子ども 心かよい合う子ども
きたえ合う子ども



HPはこちら↑

令和7年12月23日(火) 第32号

冬休みを有意義なものに

～キーワードは「めあてをもって自分から」と「勉強したことを使う」～

保護者の皆様には、昨日の期末面談に年末のお忙しい中にもかかわらず、学校においでいただき、ありがとうございました。おかげさまでお子さんのこれまでの頑張りの成長、今後の課題や目標などについて共有することができました。

一人一人の子が日々努力を重ね、そして保護者・地域の皆様の応援・ご支援をいただいたことで附馬牛小全校児童27人が心身ともに大きく成長できた2学期になりました。あらためて感謝申し上げます。

さて、本日の終業式で校長からは以下のような話をしました。

始業式の時に「あすなろ」の木のお話をしましたね。「あすなろ」は地震や大雨で大きな被害を受けた石川県の木でした。「あすなろ」には、「明日はひのきになろう」という意味があり、あすなろのように、みなさんもめあてをもってがんばりましょう、というお話をしましたが、みなさんにとってどんな2学期でしたか？

2学期にはたくさんの行事がありました。毎日毎日、いろいろなことがありました。その一つ一つにみなさんは全力で取り組み、しっかりと成長してきました。がんばった自分に、そしてみんなに拍手を送りましょう。

さて、明日からは楽しみにしていた冬休みです。6年生にとっては小学校生活最後の冬休みです。夏休み前にも話しましたが、冬休みは学校には来ませんが、自分でしっかりと計画を立てて勉強や読書などに取り組む期間です。冬休み中も「あすなろ」の気持ちで、自分でしっかりとめあてを決めて勉強などに取り組む、ということです。先生に言われたから、おうちの人にいわれたから、仕方なくやる。というのは、一番よくありません。なぜかという、嫌々やってもちっとも身に付かないからです。そして、もう1つ心がけてほしいのは「勉強したことを使う」ということです。私たちは一度勉強して覚えたつもりでいても、それを使わないとどんどん忘れてしまいます。「この勉強はテストで100点取ったし、できていたからいいや」とか「漢字テストパーフェクトだったからもう勉強しなくていいや」と思わずに、これまで勉強したことをもう一度、できれば二度、三度と繰り返し使うような勉強に取り組んでほしいと思います。例えば、算数であれば覚えた計算を使って問題作りをする。国語なら学習した漢字を使って文章を作る。というような勉強です。ぜひ取り組んでみてください。

最後に、みなさんに絶対守ってほしい約束があります。それは1月19日の3学期始業式の日全員元気に学校に来てほしいということです。夏と違い、外で遊ぶ機会は少なくなるとは思いますが、体力づくりや風邪の予防などにしっかり取り組み、また生活リズムを崩すことなく、交通事故などにあうこともなく全員元気な姿で登校してほしいと思います。

以前、校報でお伝えした通り、自分のめあて(問題意識)をもち、主体的にそして一度学んだことを活用・発揮することで、学びはより確かなものとなり、定着します。更に、できれば一度ではなく二度、三度…と繰り返し活用することがより効果的です。ただ、同じことを同じように繰り返していただだけでは、飽きてしまいます。なので、上の終業式の話にあるように、一度勉強したことを使ってみるような工夫が必要です。ご家庭でもお子さんの学習の状況を時々でよいので見ていただき、必要に応じてアドバイスや励ましの声をかけていただければ幸いです。

もちろん学習だけでなく、冬休みはいつもよりたくさん家庭の仕事に取り組んだり、年末年始などの年中行事などに触れたりすることができる良い機会です。子どもたち一人一人にとって有意義な冬休みとなること、そして何より3学期の始業式は全員元気に登校できることを願っています。

最後になりますが、今年も1年間大変お世話になり、ありがとうございました。
来年もよろしくお願いします。

よいお年をお迎えください！



12月17日(水)社会福祉協議会附馬牛支部の石直会長さんにおいでいただき、児童会執行部より「赤い羽根共同募金」をお渡ししました。保護者・地域の皆様からのたくさんのご協力、ありがとうございました！

